

翔友会便り

「まあ皆さん、聞いて下さい」 — 元航空部員の独り言 —

昭和55年卒 若代喜彦

昔、大阪に「人生幸朗」という漫才師が居ました。同じ頃、同志社には「若代」という部員が居ました。あの伝説の女子部員“ブーフーウー”の1年上と言えば分かりよいかも知れません。

私は学生の頃から、人のしない事をするのが好きでした。難波花月など、何本かのテレビに出たりもしました。当時の先輩方からは、「航空部も軟弱になったものよ〜」などと云われていたものでした。

『俺が、同志社のワカシロやっ!』を卒業して、30年が過ぎました。世の中というのは、サーマルの中でもがくのと同じで、昨今は上空から不時着地を探しているような、厳しい時勢です。

空の趣味では、故ロック岩崎氏のピッツに同乗飛行を体験したり、北海道滝川ではPW-5で銅賞を獲得したりもしました。



その滝川で関西から参加の学連学生の話によると、何故か〇△大学にだけは、初ソロで「下半身グリスアップ」というアホな伝統が残っているというではないですか！今年53歳になる私の脳裏に当時の儀式が鮮明に蘇えるのです。〇△大学に外人参加していた私は、儀式の時、大型のグリスガンで『カンチョーッ』と叫んだような気がしま

す。今では、おバカな初ソロ儀式は何処の大学からも消えていったそうですが、〇△大学では今だに残っているようで、初ソロに近い外人参加者は気をつけるように。(笑い)

話は変わりますが、私が現役の頃、ランニングがどれほど遅かったかは、同時期を共に過ごした部員なら誰でもが知るところです。運動ぎらいの麻雀好きで、中学の頃からタバコ吸ってましたもんね。ところが、メタボで始めた自転車やランニングで、自称“アスリート”まで来たように思います。今年はフルマラソンに挑みます。



滝川では格納エンジン付きグライダーで、リフトを乗り継いで九州から北海道まで飛んだ伝説の池田氏に幾度も後席をお願いしていました。

陸上単発機で経験しましたが、ナビエイド(VORやDEME)無しで、未知の空港へ行く場合、目的地が天候不良と仮定して、教官から代替空港への着陸を指示された場合など……予期していても、何だかパニックしてしまうものです。ナビ(最悪不時着)も常に考えながらリフトを使って進出するなど、私には不可能です。

「グライダーのエンジンは頭脳である」達人の

言葉です。 技量差>性能差

「良いフライト(安全)は下準備で決まる」これは陸上単発機で肝に銘じた鉄則です。

よくマラソンは人生に譬えられます。前半飛ばし過ぎて、後半つぶれる人、完走目指して堅実にゆく人、私の体験ではどちらも正解で、要は「楽しんだ者勝ち」。どうやらこれが私の結論なのかも知れません。たとえ達人は無理でも、80歳の単座乗りにならなれるかも知れません。誰もが、記

録、成績、資格など残せるものではありませんが、完走しようと努力の過程を楽しむことが出来ればグッドだと思います。

グライダーにしても、何にしても、奥が深くて80年ぐらいの時間ではとても足りそうにありません。

現役諸君は貴重な4年間を大いに楽しんで欲しいです。

若代さんが現役だった昭和51年(1976)～昭和55年(1980)頃はこんな時代でした…

■部長・小野 哲、監督・三浦 智介、コーチ・窪田 昌三、55年から監督・窪田 昌三、コーチ・土田 正明、この指導陣の下15名内外の部員が在籍し合宿と、老朽化したH-23C イオラスの代替複座機の購入アルバイトに明け暮れていた。初の単座機Ka-6 アイオンの購入アルバイトがやっと終わり、ほっとする間も無く、46年にスタートしたこの計画は9年間にわたる部員の汗の結晶として55年、ASK-13 となって実を結び、引退したH-23Cの愛称“イオラス”を継承して今日まで活躍している。

■一方、学連全体の状況は、48年の全国大会で競技機の空中衝突による死亡事故が発生し、以後57年まで全国大会は中断、また主な練習場であった福井空港が47年以来拡張工事によって使用出来なくなり当然同立戦も中断を余儀なくされるなど、不遇の時代であったと云えよう。ややもすると目標を見失いになり勝ちな中、部員を支えたのは後輩のために新複座機購入を実現することであったのかも知れない。

■この頃の世相を見てみると、昭和51年は政界を揺るがしたロッキード事件で明け、未曾有の贈賄工作が発覚、時の首相田中角栄の逮捕、失脚へと繋がった。TVからは“およげたいやき君”が流れ、NHKの連続テレビ小説の“雲のじゅうたん”を視ていた方も多かったのではないだろうか？旧ソ連のミグ25戦闘機が函館へ着陸、亡命したのはこの年の9月だった。52年9月には王 貞治が756本目のホームランを打ち、世界記録を達成、国民栄誉賞第1号となった。同じ月に日本赤軍派が日航機をハイジャック、ダッカ空港で拘留中の同志の解放を要求、福田内閣は「超法規的措置」と称してこれに応じた。53年には成田空港反対派の鉄塔・要塞を強行撤去し、5月に開港した。ロッキード事件の余韻も覚めやらぬこの年、再び航空機がらみの贈賄事件ダグラスロッキード事件が明るみに出た。映画“スターウォーズ”が大ヒット。54年靖国神社A級戦犯合祀。

■列島改造論による好景気の余波とインフレ、混乱と繁栄の入り混じった時代であった。

(編集長)